第14号

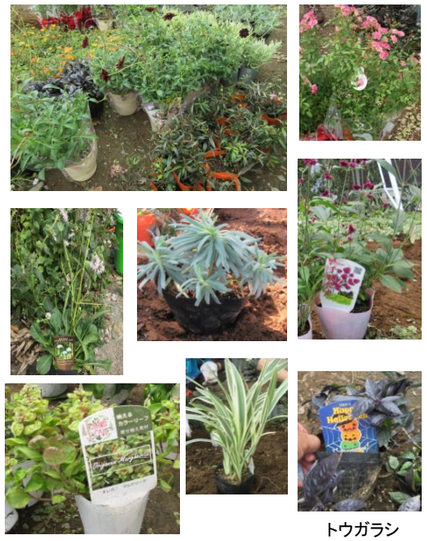
聖天山周辺地区
景観まちづくり ニュース

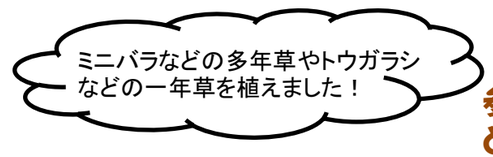
平成30年11月

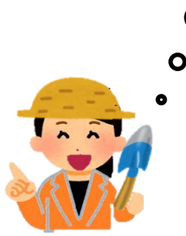
景観ワークショップを開催しました！



10月6日（土）に、園芸講師の先生をお招きして、景観ワークショップを開催しました。
前日までの雨で土も良い状態となり、絶好の植栽日和となりました。
当日は、シンボルツリーである中央のしだれ桜の剪定、その周囲に広がる円形の花壇や勾玉型の花壇の整頓、多年草及び一年草苗の花植えをそれぞれ講師の方と一緒に考えながら行いました。
今後も聖天様と観喜院本坊を結ぶ空間に癒しを与えられるような場所にしていきましょう！







**参加者の皆さん
どうもおつかれさまでした**





樹木の剪定・移植

樹木同士が混み合っていたので、サワラの木を剪定し、そのうちの一本を移植しました。



















剪定のポイント

しだれ桜は、枝が上に伸びてから下に垂れ下がる樹形が望ましいので、上に向かっている枝や枝の上側の芽を残します。
下に向かって伸びている枝は剪定します。自分でどのような形に仕上げていくか想像しながら剪定しましょう。







花苗を植えるときは、苗ポットの高さよりも深めに穴を掘って植え、土を被せながら、苗を持ち上げます。そのことによって、苗周りの土がほぐれた状態となるため、根が付きやすくなります。













花植えのポイント

まずは、全体的に堆肥を軽く混ぜます。植えるときは、手前から植えていくと奥に行くにしたがって足を置く場所がなくなるため、最初は奥のほうから植えていきます。
花が大きくなった時にどのくらいの高さまで育つのかを考えながら、背の高くなる花はできるだけ奥に植え、手前に来るにしたがって背の低い花を植えるようにすると、全体がバランスよく観察することができます。 植える向きは、少し手前に伸びてくるように斜めに植えて花が咲いたときにきれいな顔がこちらに向くように植えます。







【お問い合わせはこちらまで】　熊谷市 都市整備部 都市計画課
〒360-0195　熊谷市中曽根654番地1(大里庁舎)
TEL:0493-39-4813（直通）　E-mail:toshikeikaku@city.kumagaya.lg.jp